



一般社団法人 生成 AI 活用普及協会

Association to Generalize Utilization of Generative AI

GUGA ご案内資料（2025年4月1日時点）

1. 団体概要

2. 生成AIパスポート

- 生成AIパスポート試験

- 動画学習型の資格認定制度（シラバス対応研修動画）

3. 生成AI人材認定カード

4. カスタマイズ研修

5. 会員制度



1

团体概要

Membership Information





一般社団法人
生成AI活用普及協会
Association to Generalize Utilization of Generative AI

私たちは、生成AIを社会に実装し、
産業の再構築を目指す一般社団法人です。

| 団体名称 一般社団法人 生成AI活用普及協会（GUGA）

| 設立日 2023年5月10日

| 会員数 200社（※2025年3月21日時点）

| 代表者名 理事長 井畑 敏

| URL <https://guga.or.jp/>

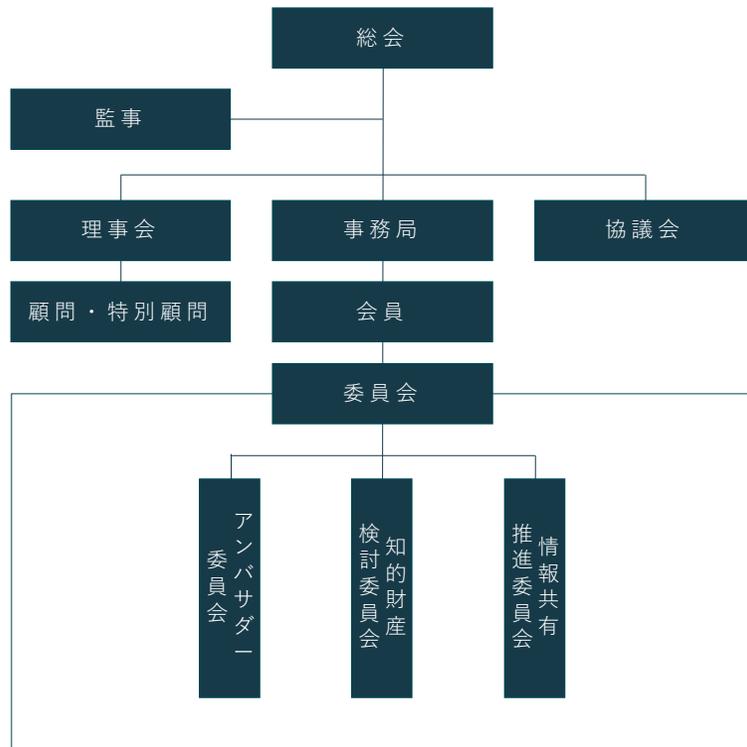
MISSION

生成AIを社会に実装する。

VISION

社会とともに産業を再構築し、日本の未来を強くする。

社会実装を推進するプロフェッショナル（理事）と日本を牽引するAI有識者（協議員）が連携。
会員とともに、公正な生成AIの社会実装を目指しています。



理事長

井畑 敏 | Satoshi Ihata

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(日本FP協会)創設者



協議会議長

山本 貴史 | Takafumi Yamamoto

東京大学エクステンション株式会社 代表取締役社長

東京大学 副理事 / 理化学研究所 副理事



企業経営、人的資本、リスク管理といった産業・企業視点の深い知識・経験を有する 社会実装のプロフェッショナルが理事として集結。

役職	氏名	略歴
理事長	井畑 敏	NPO法人 日本ファイナンシャルプライバシー認証機構理事。日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(日本FP協会)の設立やファイナンシャルプランナーの資格制度(AFP、CFP)の導入などを行う。
理事	石川 和男	元経済産業省 算数脳育研究会 代表理事
理事	長田 忠千代	元株式会社三菱東京UFJ 銀行代表取締役専務 シンワ ワイズHD 社外取締役
理事	小宮山 利恵子	株式会社リクルート スタディサプリ教育AI研究所所長 国立大学法人 東京学芸大学大学院准教授
理事	鮫島 正洋	弁護士法人内田・鮫島法律事務所 代表パートナー弁護士
理事	澤 円	(株) 圓窓の代表取締役 元・日本マイクロソフト株式会社業務執行役員
理事(公共セクター担当)	内藤 正光	NTT 勤務を経て参議院議員として本格的なIT時代の到来を見据えた法規制の整備、総務副大臣としてIT戦略本部(当時)の組織改革や電波政策など抜本改革等に従事。
理事	日笠 真木哉	ベリーベスト法律事務所 弁護士 司法修習終了後、14年間近く、検事として、各地検において刑事事件の捜査・公判に携わる。
理事	廣渡 嘉秀	株式会社AGSコンサルティング 代表取締役社長
理事	最上 義	国連NGO JACE(経済社会理事会 特殊諮問資格) 副代表 一般社団法人日本不動産仲裁機構代表理事
理事	渡邊 貴史	キュレーションズ株式会社 取締役。国や自治体の委員やアドバイザー等も歴任。
業務執行理事	小村 亮	一般社団法人生成AI活用普及協会 事務局長兼務
業務執行理事	新妻 健将	BOSAI SYSTEM株式会社 代表取締役
業務執行理事	元田 宇亮	武蔵野大学アントレプレナーシップ学部客員教授 元READY FOR株式会社 CFO
監事	渋谷 寿彦	虎ノ門有限責任監査法人理事長 日本公認会計士協会 常務理事
特別顧問	竹本 直一	前衆議院議員 元内閣府特命担当大臣(科学技術政策・知的財産戦略・クールジャパン戦略・宇宙政策)、情報通信技術(IT)政策担当大臣 元財務副大臣 元国務大臣
顧問	仙石 実	南青山アドバイザーグループ 代表



AIに関する専門的な知識・経験を有する
日本を牽引する50名超※のAI有識者が協議員として集結。



※2025年4月1日時点



生成AIの社会実装に向けて、生成AIパスポート（人材育成）を軸としたサービスを展開。

多くのステークホルダーの皆さまとともに、生成AIインフラの企画・提供を推進。



GUGA主催で、生成AI人材を採用する意志を表明する共同プロジェクトを2024年から始動。

2025年には156の企業・団体が賛同し、生成AI人材への需要の高まりが伺える。



▼特設ページはこちら



<https://guga2023.notion.site/AI-2025-166568a8e687810195d6f5191c98eb70>



2

生成AIパスポート

Generative AI Passport



生成AIパスポート試験





生成AIパスポートはAI初心者のために誕生した、

生成AIリスクを予防する資格試験です。

生成AI資格試験では日本最大級※の受験者数を誇ります。

※2025年3月時点で発表されている生成AI関連の資格試験や検定の受験者数に基づく

体系的に網羅している主な4つのポイント

01

AI & 生成AIの
基礎知識

02

現在の生成AIの
動向

03

生成AIを
取り扱う際の
注意点

04

生成AIの実践的な
活用方法

生成AIがもたらす社会の変化

AIの民主化

生成AIの台頭により
AIは特定の誰かではなく
誰もが使えるようになる

生成AIネイティブ世代

これからの社会人は
生成AIネイティブ世代
と呼ばれるようになる

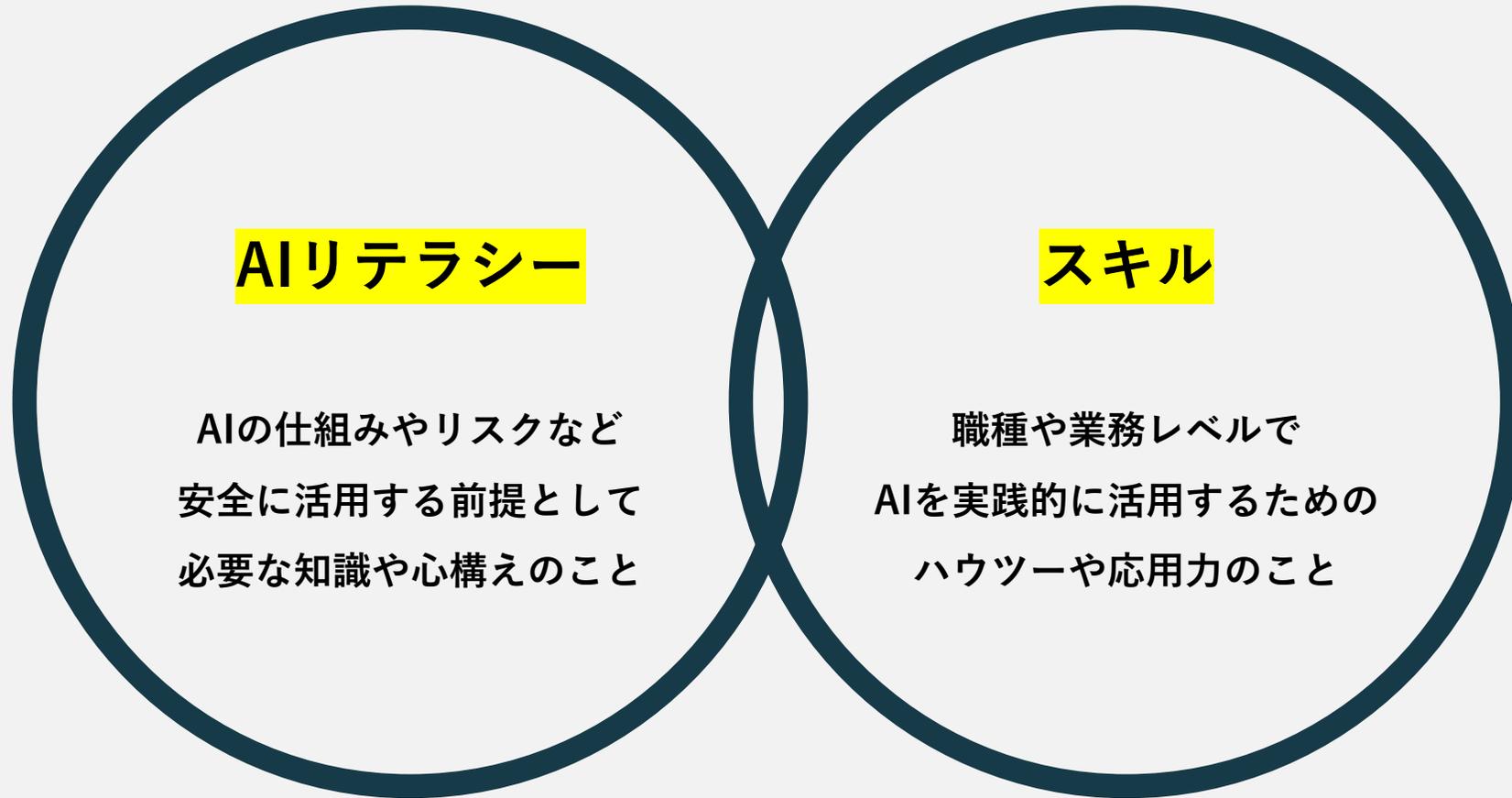
生成AIレベルの証明

生成AIを安全に活用できる
企業・人材であることが
選ばれる前提条件になる

「生成AIを安全に活用できること」を証明する生成AIリスクリングが重要



「生成AIリスクリング」に必要な2つのアプローチ

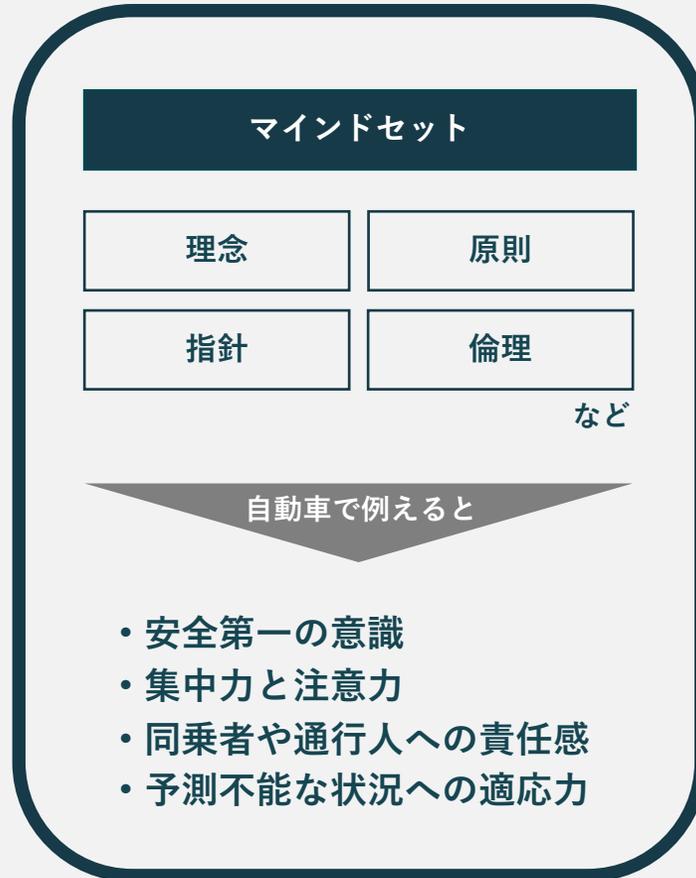
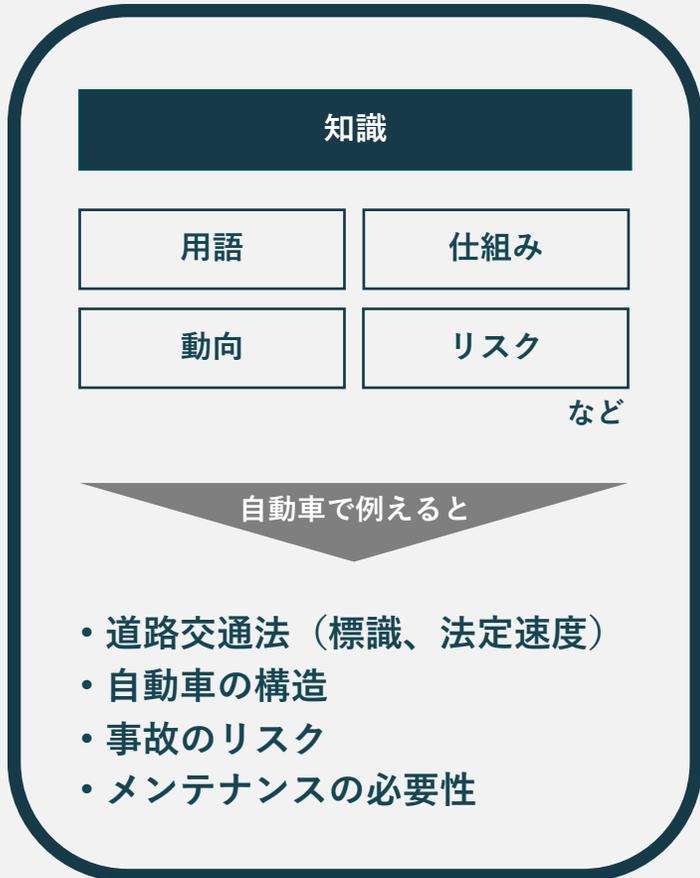


「どちらか」ではなく「どちらも」アプローチすることが大切



「AIリテラシー」とは

AIリテラシーとは、スキルを最大限発揮するための「運転免許証」のような役割。
AIとの付き合い方やOK・NGの線引きを把握することで、自信を持って活用することができる。



1 誤情報・偏った情報・悪用された情報との接触

2 個人情報・秘密情報などの漏洩

3 知的財産権・パブリシティ権・肖像権などの権利侵害

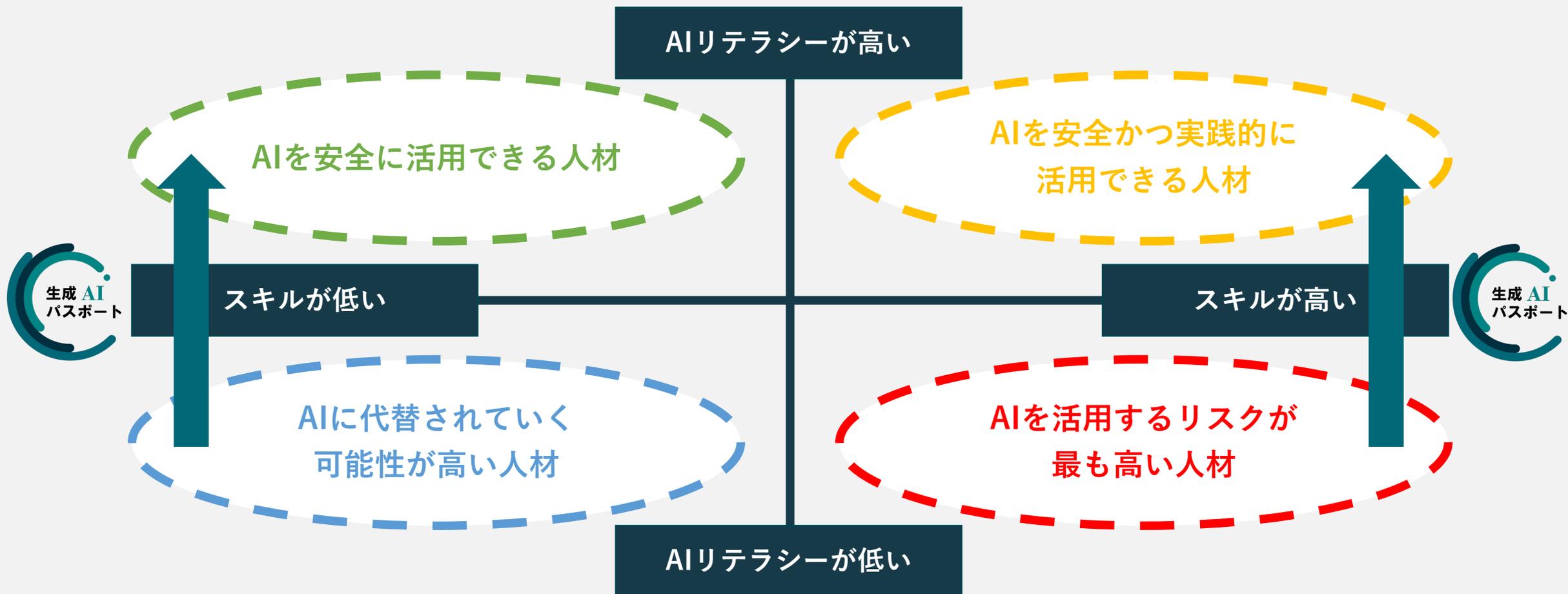
4 不正競争防止法への抵触



「生成AIリスクリング」の前提となる4タイプの人材

スキルのみ高い人材はリスクを把握できておらず、トラブルを招く可能性が最も高い。

生成AIパスポートを取得することで、客観的にAIリテラシーを可視化でき、生成AI活用を促進できる。



「生成AIパスポート」を取得するメリット

- 1 生成AIに関する基礎的な知識や活用方法を体系的に学ぶことができる
- 2 生成AI活用におけるリスクを正しく把握することで、漠然とした不安を払拭できる
- 3 生成AIを安全に活用できる企業・人材であることをステークホルダーにPRできる
- 4 生成AIを安全に活用できる人材に対して、企業が適切な人事評価を行うことができる



「生成AIパスポート」を活用したPR事例 | SNS発信

生成AIパスポート試験の合格証書をSNSで投稿し、生成AIを安全に活用できることをPR



Lancersのプロフィール上で「生成AIパスポート」認証バッジを表示し、案件獲得に向けてPR

しなけん@生成AIエンジニア
生成AIを駆使して、効率的かつ効果的に業務の改善を図ります。

6日前 shina_kenkyu | AIエンジニア | 個人 | 東京都 | 男性 | 総獲得報酬: 22,000 円

ランク シルバー

✓ 本人確認 ✓ 機密保持確認 ✓ 電話確認 ✓ ランサーズチェック



生成AIの利便性とリスクを正しく把握し、
適切な業務プロセスの構築や納品物の生成ができることをアピールできる。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000035.000121559.html>

生成AIパスポート試験の受験者・合格者数を発表し、生成AIを安全に活用できる企業であることをPR

パーソルグループ、社員を対象に生成AIの知識・活用スキル向上のアップスキリングを推進

～業務効率化、リスク回避に繋がる生成AIの研修・社内勉強会・資格取得を積極的に実施～

パーソルHD 2024年2月16日 11時04分



「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに掲げるパーソルホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：和田 孝雄）は、生成AIについての知識・活用スキルを習得するため、グループ社員を対象とした専門家による研修や社内勉強会をのべ1,500名以上が受講、動画研修をのべ3,800名以上が受講、資格試験「生成AIパスポート」※を200名以上が受験し、グループ社員のアップスキリングをさらに推進することをお知らせいたします。

■取り組みの背景

昨今、生成AIの普及が進み、“はたらく”をとりまく環境が大きく変化しています。変化に対応するためには、AI・生成AIを体系的に理解し、正しい知識を身につけて利活用していくことが必要です。

パーソルグループでは、社員を対象としたグループ共通の取り組みとして、生成AIについての知識・活用スキルを習得し、一層の業務活用を推進するために、研修や社内勉強会の開催、資格試験「生成AIパスポート」※などによるアップスキリングを推進しています。

■概要

パーソルグループでは、社員個人の生成AI活用スキルレベルについて、レベル1段階目を「理解」、2段階目を「業務導入」、3段階目を「業務活用と伝播」とし、パーソルグループ全体で生成AIの業務活用が波及している状態を目指しています。

【651名が資格取得】社員全員が生成AIを扱える企業を目指しスキルアップを支援

CLINKS株式会社 2024年8月20日 11時00分



生成AIパスポート試験

アプリ開発やITアウトソーシングを手掛けるCLINKS株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：河原浩介）は、所属するエンジニア社員がより効率的かつ高品質な技術提供を可能にするため、生成AIの活用を推進しています。一般社団法人生成AI活用普及協会(GUGA)が提供する認定資格「生成AIパスポート」に6月の試験でCLINKS社員500名が合格し、生成AI活用をさらに推進する社員が651名に

株式会社みんがく、一般社団法人生成AI活用普及協会（GUGA）が主催する第1回「生成AIパスポート試験」を受験者したスタッフ全員の合格を発表

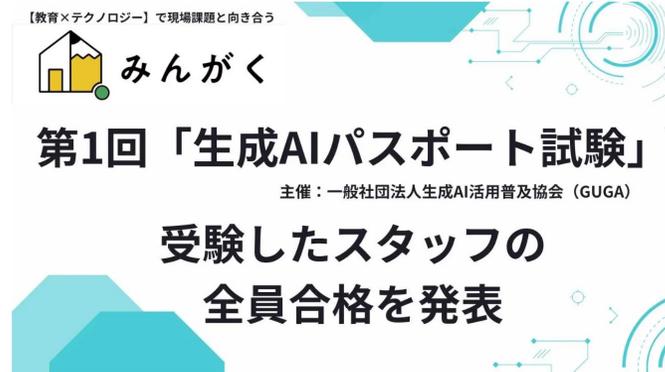
「生成AIパスポート試験」合格により、スタッフの生成AI活用スキルがGUGA定める水準を越えたことを証明

株式会社みんがく

2023年11月14日 13時07分



教育×生成AIで、教育サービスのプラットフォーム開発を手掛ける株式会社みんがく（本社：東京都目黒区、代表取締役：佐藤 雄太）は、第1回「生成AIパスポート試験」において、代表の佐藤雄太氏をはじめ、受験者したスタッフ全員（3名）が合格という結果を達成しました。



<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000859.000016451.html>

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000034.000056645.html>

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000036.000079497.html>

生成AIパスポート試験を福利厚生に組み込み、生成AIリスキリング（人材育成）環境を求職者にPR

全従業員を対象に生成AIパスポートの公式テキストと受験費用を企業が全額負担



・全従業員に生成AIパスポート受験費用全額負担

クラフターでは全従業員に一般社団法人生成AI活用普及協会（GUGA）が提供している資格試験「生成AIパスポート」のテキストと受験費用を全額負担しています。

採用情報はこちら

<https://www.wantedly.com/projects/1508346>

<https://www.wantedly.com/projects/1519535>

<https://www.wantedly.com/projects/1489431>

<https://www.wantedly.com/projects/1477536>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000073.000023100.html>

そのほか、採用時の推奨資格として「生成AIパスポート」を入れることを検討している企業も。



「生成AIパスポート試験」の実施概要

個人受験・団体受験ともに「2月／6月／10月」の年3回開催

名称	生成AIパスポート試験
開催形式	オンラインでの実施（IBT方式）
試験時間	60分間
問題数	60問
出題範囲	シラバスより出題（毎年2月試験にシラバス改訂）
受験費用	11,000円(税込) ※学生は5,500円(税込)

※シラバスの改訂は毎年2月を基本としつつ、年に1回以上行う場合がございます。



下記のような設問イメージで「四肢択一式」の出題形式を採用

機械学習における「入力したデータに対して正解データのペアを与えず、データ自体のパターンや構造をモデルが自己で発見することでトレーニングする手法」に該当する選択肢を1つ選びなさい。

- ① 教師あり学習
- ② 教師なし学習
- ③ 強化学習
- ④ 過学習

答：②

ディープフェイク技術に関して不適切な記述をしている文章を1つ選びなさい。

- ① ディープフェイク技術は特定の人物の顔を映像に合成したり、自分の声を他人の声に変換したり、目的に応じて高度にカスタマイズすることができる。
- ② ディープフェイク技術は主に GAN や VAE を活用している。
- ③ 高度に進化したディープフェイク技術は、AI 技術をもってしても情報の真偽を見分けることができないことがある。
- ④ ディープフェイク技術が悪用されると詐欺やなりすましリスクが高まるので厳格に法律で規制されている。

答：④

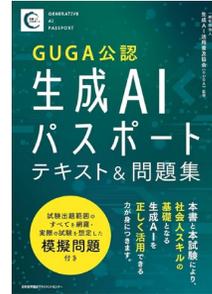


テキストや試験対策講座を拡充し、一人ひとりにあった学習方法を提供



生成AIパスポート 公式テキスト

- ・電子書籍版：1,782円(税込)
- ・製本版：1,980円(税込)



生成AIパスポート テキスト&問題集

- ・電子書籍版：1,782円(税込)
- ・製本版：1,980円(税込)



生成AIパスポート AIクイズアプリ

GUGAのLINE公式アカウントを
友だち追加し、無料で利用可能



試験対策講座・試験対策アプリ

LEC 東京リーガルマインド

AVIVA
パソコンスクール アビバ

スキルアップ Next

SIGNATE
Empowering Your Potential

CLINKS
AI DRIVEN COMPANY

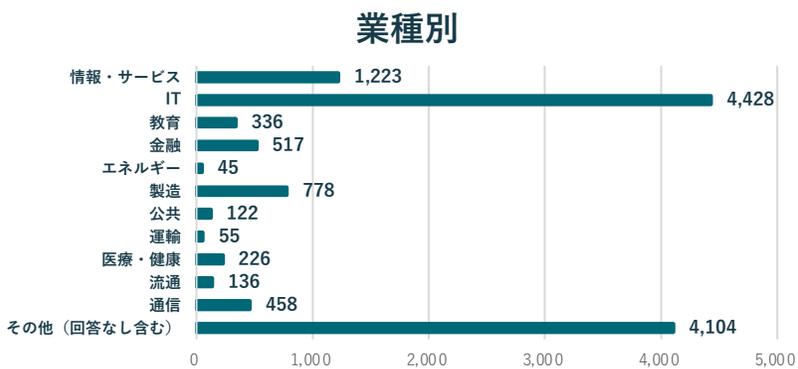
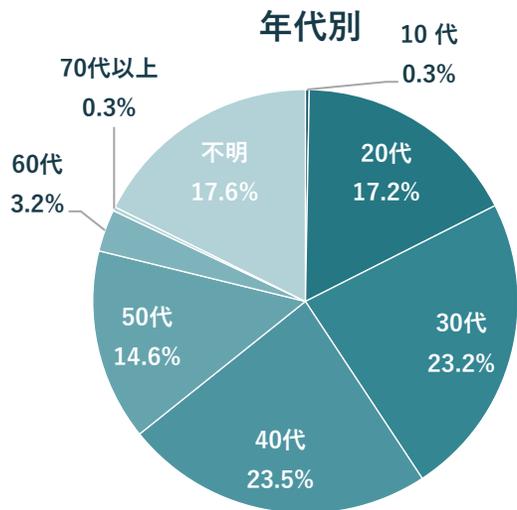
株式会社レベクリ
REVENUE CREATION

EDGE Technology

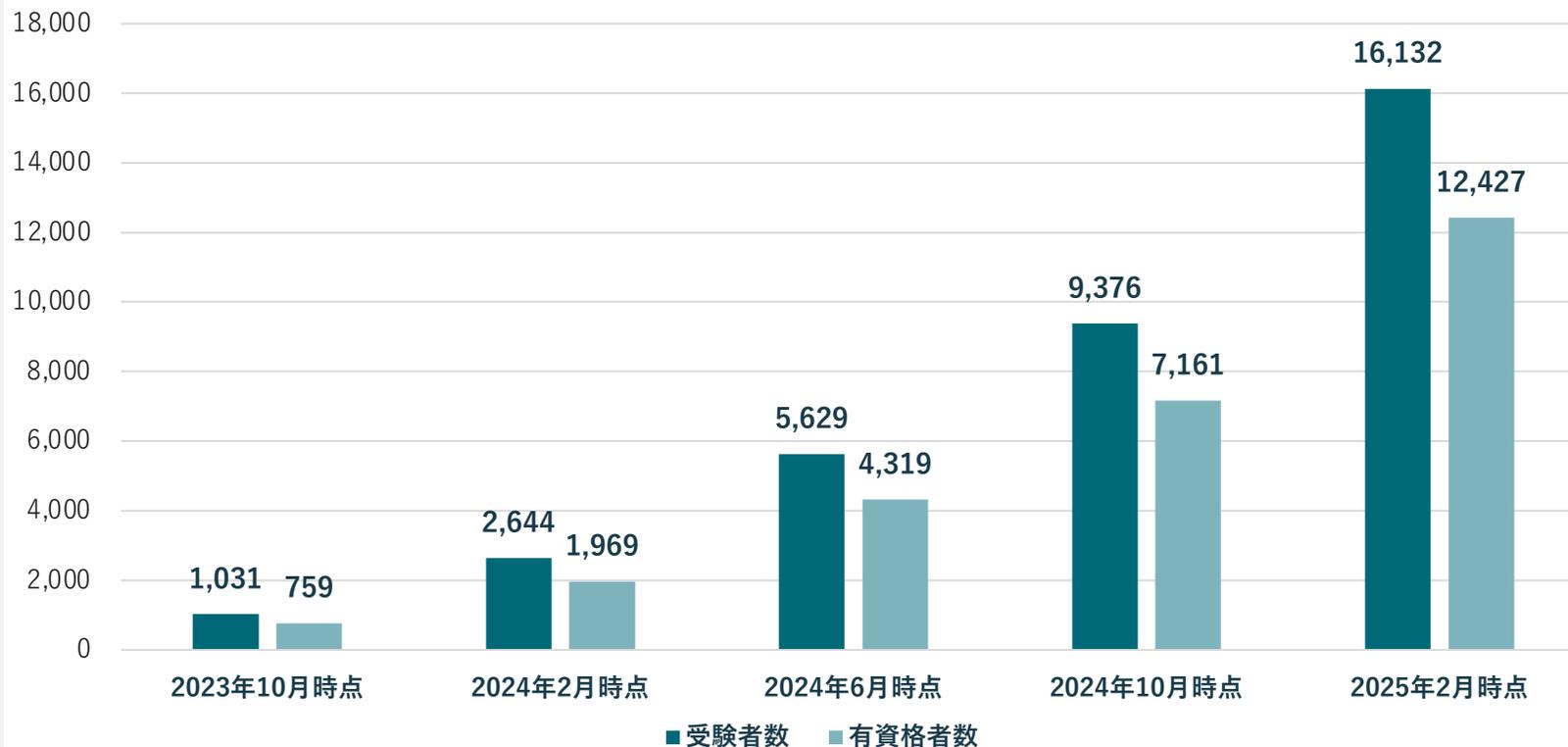
SHIFT AI
Shift to AI era.

「生成AIパスポート」の累計データ（2025年2月時点）

累計受験者数：16,132名／累計有資格者数：12,427名



累計受験者数・累計有資格者数の推移



※受験者数には、生成AIパスポート試験の受験者に加え、動画学習型の資格認定制度を利用した受講者を含みます。また、有資格者数は、複数回にわたって合格されている方を1名としてカウントしています。そのため、各試験の開催結果を足し上げた数字とは異なります。なお、資格更新テストの受験者および合格者は含まれていません。

「生成AIパスポート試験」開催スケジュール

個人受験（一般向け）・団体受験（企業・団体向け）の形式で「生成AIパスポート試験」を開催

	申込期間	受験期間
第1回	10月1日0:00～1月31日23:59	2月1日0:00～2月29日23:59 ※1
第2回	2月1日0:00～5月31日23:59	6月1日0:00～6月30日23:59
第3回	6月1日0:00～9月30日23:59	10月1日0:00～10月31日23:59

※受験期間のお問い合わせ対応可能時間は、平日10:00～18:00となります。 ※1 うるう年に該当しない場合の受験期間は2月28日23:59までとなります。

団体受験の概要

<団体受験とは>

団体受験とは、受験希望者の申し込み・支払いを一括で管理できる申込方法です。請求書でのお支払いにも対応しています。

■ 非会員の場合

- ・企業／団体さまごとに2名以上から申し込み可能
- ・10名以上でお申し込みの場合、受験費用／公式テキスト購入費用ともに10%割引

■ 会員の場合（一般個人会員を除く）

- ・人数の下限を問わず申し込み可能
- ・受験費用／公式テキスト購入費用ともに20%割引

「生成AIパスポート 資格更新テスト」について

シラバス改訂のタイミングで「生成AIパスポート 資格更新テスト」を開催（主に毎年2月）。

AIリテラシーのアップデートを証明することが可能。

名称	生成AIパスポート 資格更新テスト
開催形式	オンラインでの実施（IBT方式）
試験時間	30分間
問題数	30問
出題範囲	シラバスより出題（主に改訂内容）
受験資格	生成AIパスポート有資格者であること
受験費用	6,600円(税込) ※学生は3,300円(税込)



※資格更新テストの受験有無を問わず、一度取得した生成AIパスポートの資格は無期限です。
※シラバスの改訂は毎年2月を基本としつつ、年に1回以上行う場合がございます。

動画学習型の資格認定制度（シラバス対応研修動画）



「シラバス対応研修動画」の視聴により、「生成AIパスポート試験」の内容と同等の学習が可能。
動画を視聴後、チェックテストに合格すると、資格を取得することができます。



第1章 AI

第4章 情報リテラシー

第2章 生成AI

第5章 プロンプト制作と事例

第3章 生成AIの動向

■ 概要

- 講習内容：生成AIパスポート試験のシラバスに基づいた内容を、
GUGA認定講師が図やイラストを用いて分かりやすく解説。
- 講習形式：WEB動画（eラーニング）
- 講習時間：約4時間
- 対象：GUGA会員（一般個人会員を除く）
- 金額：38,500円(税込) / 名
- ※受講可能期間（チェックテスト含む）はアカウント発行から2ヵ月間

■ こんな企業・団体さまにおすすめ

- ✓ 複数の従業員を対象に一齐に資格を取得目指したい
- ✓ 従業員の学習時間をなるべく削減し効率的に学ばせたい
- ✓ 自社のeラーニングシステムに導入し、人材育成コンテンツ化したい

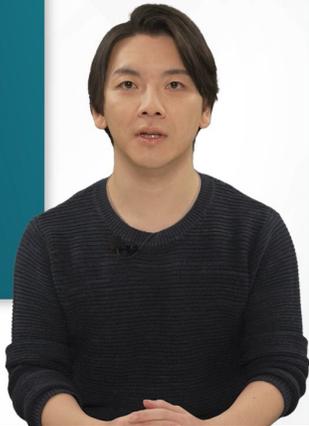


AI（人工知能）の定義、その知能を生み出す仕組み、AIの種類や歴史、そしてシンギュラリティ（技術的特異点）について学びます。
この章を通じて、AIの基本的な理解を深めることができます。

CHAPTER
01

AI（人工知能）

- 1-1 AI（人工知能）の定義
- 1-2 AIに知能をもたらす仕組み
- 1-3 AIの種類
- 1-4 AIの歴史
- 1-5 シンギュラリティ（技術的特異点）



講師



GUGA 協議員
津本 海 | Kai Tsumoto
株式会社スニファウト 代表取締役 CEO

2021年に東京大学大学院を卒業。在学中からフリーランスエンジニアとして複数のスタートアップの事業開発やデータ分析を支援し、卒業後ベンチャー企業に新卒入社。新規事業の立ち上げ及びグロースを主導し1年で事業責任者に着任。2022年11月より株式会社スニファウトを創業し生成AI特化のエンジニア集団として複数の企業の生成AI開発を成功に導く。

生成AIパスポート試験 シラバス内容

第1章 AI	AI（人工知能）の定義	AIの定義をはじめとした、AIの基礎的な概念を理解する
	AIに知能をもたらす仕組み	AIが機能するための要素とその仕組みを理解し、AIと呼ばれる由来やその性質を学習する
	AIの種類	実際に生活で利用されているAIと、その種類を理解する
	AIの歴史	AIの誕生から現在までの変遷を学習する
	シンギュラリティ（技術的特異点）	シンギュラリティの基本的な概念を学習する

第2章 | 生成AI

生成AI（ジェネレーティブAI）に焦点を当て、その定義や様々なモデルと手法、特にテキスト生成AI「ChatGPT」について詳しく学びます。
生成AIが現在どのように活用されているかについても理解を深めることができます。

CHAPTER
02

生成AI（ジェネレーティブAI）

- 2-1 生成AI（ジェネレーティブAI）とは
- 2-2 Chat GPT



講師



GUGA 協議員

津本 海 | Kai Tsumoto

株式会社スニファウト 代表取締役 CEO

2021年に東京大学大学院を卒業。在学中からフリーランスエンジニアとして複数のスタートアップの事業開発やデータ分析を支援し、卒業後ベンチャー企業に新卒入社。新規事業の立ち上げ及びグロースを主導し1年で事業責任者に着任。2022年11月より株式会社スニファウトを創業し生成AI特化のエンジニア集団として複数の企業の生成AI開発を成功に導く。

生成AIパスポート試験 シラバス内容

第2章	生成AI（ジェネレーティブAI）とは	生成モデルが誕生してから現在に至るまでに登場してきた様々なモデルの種類と手法を学習する
生成AI	ChatGPT	テキスト生成AI「ChatGPT」の仕組みと歴史を学習し、GPTモデルの性能を理解する



第3章 | 生成AIの動向

生成AIの現在の動向を掘り下げ、実現できることや主なサービス、ディープフェイク（深層偽造）技術について学びます。

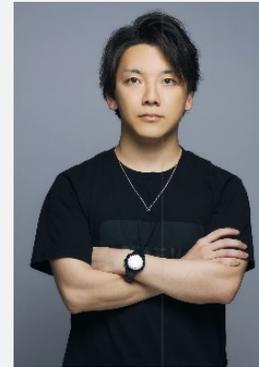
これにより、生成AIの応用範囲とそれに伴う課題を理解できます。

CHAPTER
03
現在の生成AI(ジェネレーティブAI)の動向

- 3-1 生成AIができることと主なサービス
- 3-2 ディープフェイク（深層偽造）技術

生成AIができることについて学んでいきますが、

講師



GUGA 協議員

津本 海 | Kai Tsumoto

株式会社スニファウト 代表取締役 CEO

2021年に東京大学大学院を卒業。在学中からフリーランスエンジニアとして複数のスタートアップの事業開発やデータ分析を支援し、卒業後ベンチャー企業に新卒入社。新規事業の立ち上げ及びグロースを主導し1年で事業責任者に着任。2022年11月より株式会社スニファウトを創業し生成AI特化のエンジニア集団として複数の企業の生成AI開発を成功に導く。

生成AIパスポート試験 シラバス内容

第3章 生成AIの動向	生成AIが出来ることと主なサービス	現段階において、生成AIを活用することで実現できる生成物を理解する
	ディープフェイク（深層偽造）技術	深層偽装（ディープフェイク）の危険性を理解する

第4章 | 情報リテラシー

インターネットリテラシー、セキュリティとプライバシー、個人情報保護、権利侵害、そしてAIに関連する社会原則について学びます。
この章は、デジタル・AI社会を生きるビジネスパーソンが把握しておくべき基本的なリスクを理解できます。

CHAPTER
04
生成AI活用前の情報リテラシー

- 4-1 インターネットリテラシー
- 4-2 セキュリティとプライバシー
- 4-3 個人情報保護の観点
- 4-4 制作物に関わる権利
- 4-5 AIを取り巻く理念と原則・ガイドライン



講師



GUGA 知的財産検討委員会 執行委員
草野 大悟 | Daigo Kusano
株式会社IPリッチ 代表取締役

2013年 富士ゼロックス株式会社入社(知的財産部配属)
2016年~ 株式会社パテントインベストメント代表取締役
2023年~ 株式会社IPリッチ代表取締役
2023年 IP FELLOWS 特許商標事務所に参画

生成AIパスポート試験 シラバス内容

第4章 情報リテラシー	インターネットリテラシー	インターネットを適切に利用するために必要なスキルを理解する
	セキュリティとプライバシー	インターネットを利用する際に潜んでいるリスクと、それらがもたらす危険性を理解した上で、生成AIの利活用に知識応用する
	個人情報保護の観点	個人情報の取り扱い、生成AIに関連する注意すべき点を学習する
	制作物に関わる権利	生成AIについての法律を学習し、AI生成物を生成した人間の有する権利や責任の所在を学習する
	AIを取り巻く理念と原則・ガイドライン	日本におけるAIの活用に関する社会的な指針（ガイドライン）や遵守すべきAI社会原則を理解する

第5章 | プロンプト制作と実例

プロンプト制作の基礎と実例に焦点を当て、LM（Language Model）やLLM（Large Language Model）について学びます。
プロンプティング技法やテキスト生成AIのビジネス応用、AIの限界について理解を深めることができます。

CHAPTER
05

テキスト生成AIのプロンプト制作と実例

- 5-1 LMとLLM
- 5-2 プロンプティングの基礎
- 5-3 LLMプロンプティングの実践
- 5-4 テキスト生成AIを用いたビジネス応用
- 5-5 テキスト生成AIの不得意なこと



講師



GUGA 協議員

小澤 健祐 | Kensuke Ozawa

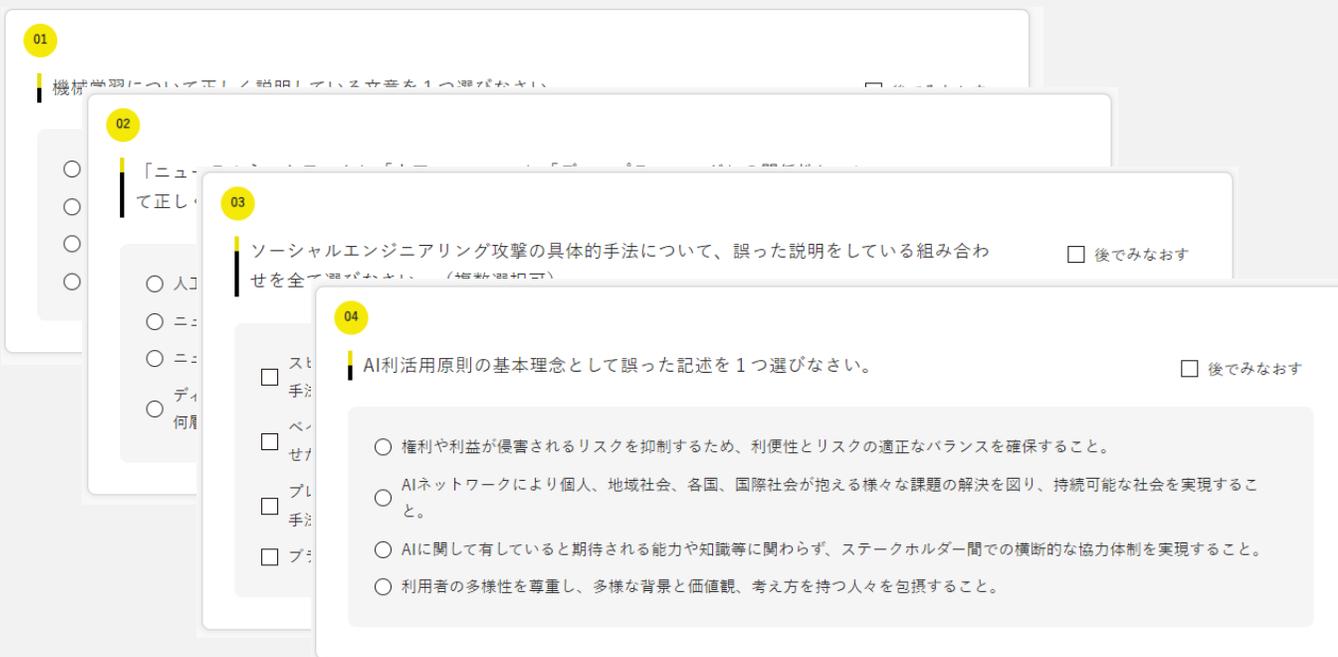
Cinematico 創業者 / COO

「人間とAIが共存する社会をつくる」がビジョン。
ディップが運営するAI専門メディア AINOW編集長。AIベンチャー Carnotの事業戦略、生成AI教育事業を展開するCynthialyの顧問。AI分野の1000本以上の記事を執筆。AI活用コミュニティ「SHIFT AI」のモデレーター、ディップの生成AI活用推進プロジェクト「dip AI Force」の推進。著書に『生成AI導入の教科書』（ワニ・パブリッシング）。

生成AIパスポート試験 シラバス内容

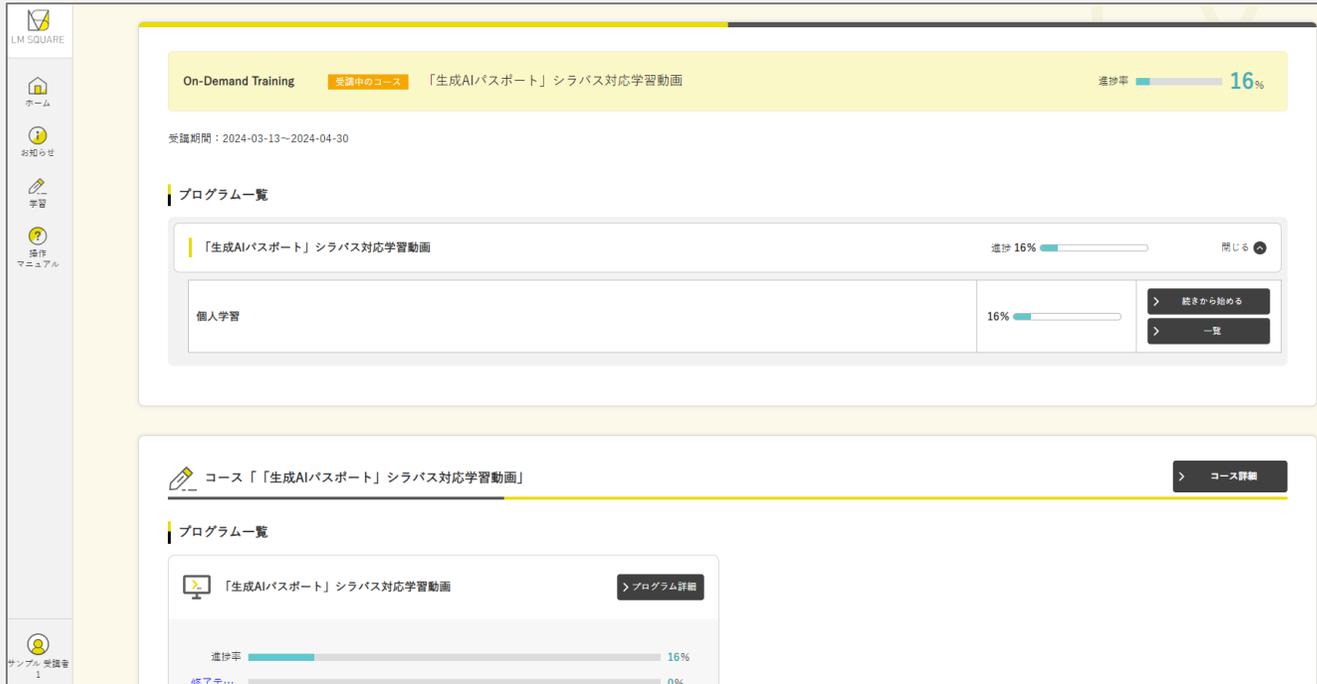
第5章 プロンプト制作と実例	LMとLLM	大規模言語モデルについて理解する
	プロンプティングの基礎	プロンプトの基礎知識を学習する
	LLMプロンプティングの実践	テキスト生成AIにおける基礎的なプロンプティング技法について学習する
	テキスト生成AIを用いたビジネス応用	生成AIのビジネス応用について学習する
	テキスト生成AIの不得意なこと	テキスト生成AIの不得意なことについて学習する

全5章の内容を視聴完了した受講者は、チェックテストに合格すると、「生成AIパスポート 合格証書」と「オープンバッジ」を受け取ることができます。



全5章の内容を視聴完了した受講者は、10問程度のテストを受ける機会が与えられます。このテストは、コンテンツをしっかりと理解しているかを評価するもので、合格基準を満たすまで何度でも挑戦することができます。テストに合格すると、「生成AIパスポート 合格証書」を受け取ることができます。合格証書は、シラバス対応研修動画で学んだ知識とスキルを正式に証明するものであり、生成AIに関する理解と適用能力があることを示します。

eラーニングシステムは、シンプルなナビゲーションと進捗追跡機能を通じて、効率的な学習体験を提供します。



■シンプルなナビゲーション

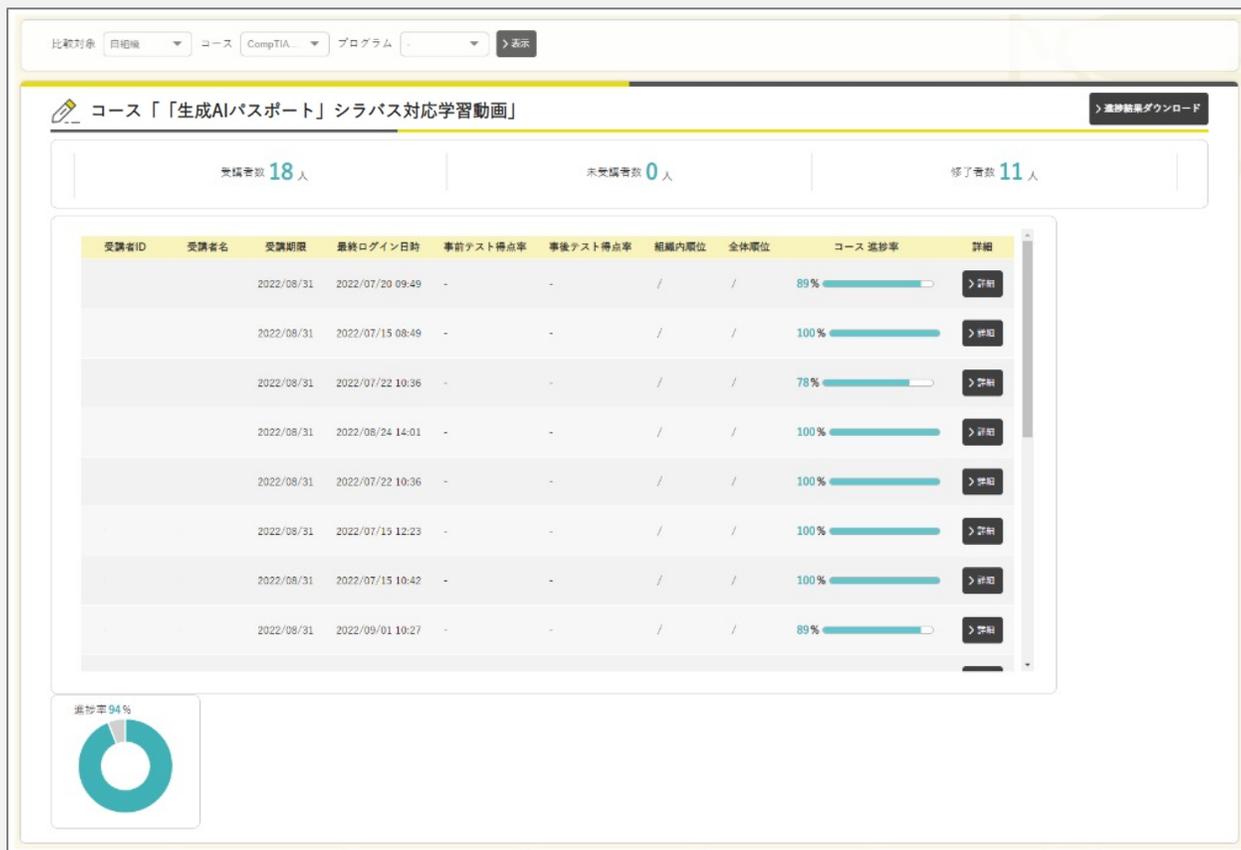
直感的なインターフェースにより、ユーザーは迷うことなく必要なコンテンツにアクセスできます。この使いやすさにより、学習に集中しやすい環境を提供します。

■進捗追跡

受講者は自分の学習進捗を簡単に把握でき、残された章やセクションが明確に表示されます。これにより、自身の学習計画をより効果的に管理できます。

このeラーニングシステムを通じて、受講者は生成AIに関する包括的な理解を深め、その知識を問題解決やビジネス応用に活かす能力を身につけることができます。システムは、ユーザーが学習過程で直面するであろうあらゆる障壁を取り除くよう設計されており、最適なオンライン学習体験を提供します。

受講者の受講状況を一目で確認できます。
画面表示やCSV出力で詳細な進捗管理が可能です。



■組織全体の学習進捗管理機能

管理者が受講者の進捗状況をリアルタイムで把握できます。この機能を利用して、管理者は画面上で各受講者の学習進捗、完了したセクション、受験状況などを直接確認することができます。

また、進捗データはCSV形式でエクスポート可能であり、外部のデータ分析ツールでのさらなる分析やレポート作成に役立ちます。このシステムにより、組織内の学習管理が効率化され、受講者の成果を最大化するための適切なサポートとフォローアップを実現します。

シラバス対応研修動画の受講までの流れ



1 法人会員登録 **管理者**

法人会員でない方は、必要情報を入力して会員登録を行ってください。既に会員の方は①のステップにお進みください。

2 受講申込 **管理者**

研修動画ページにアクセスし、希望する受講人数と開始日を入力して申し込みを完了させてください。

3 受講者情報登録リストの記入・提出 **管理者**

[受講者情報登録リスト] をメールでお送りします。受講者情報をご入力の上、ご提出ください。

※受講開始日は [受講者情報登録テスト] 提出日の5営業日以降となります。

4 請求書の送付 **管理者**

②の申込内容を確認後、事務局より請求書をメールでお送りします。指定された期日までにお支払いください。

5 ログイン情報

受講開始日に、受講用のログイン情報を各受講者にメールでお送りします。

6 受講開始 **管理者** **受講者**

ログイン情報を使用してサイトにアクセスし、受講を開始してください。

※受講可能期間 (チェックテスト含む) はアカウント発行から2ヵ月間です。

3

生成AI人材認定カード

Generative AI Human Resources



「生成AI人材認定カード」とは



生成AI人材認定カードは、生成AI人材 (※) の
リテラシー・スキルを可視化するカードです。

※GUGAでは「生成AI人材＝生成AIを学び続けている人材」と定義しています。

生成AI人材認定カードの仕組み



生成AIリスキングの学習歴（オープンバッジ）をもとに、生成AI活用レベルを簡単に証明できます。

「生成AI人材認定カード」を提供する背景

生成AIの台頭を受け、全てのビジネスパーソンに求められるリテラシー・スキルが変化。
国の指針や企業・個人の課題に対応していく必要がある。

国が掲げる指針

スキルの履歴の可視化を可能とする一助として、**オープンバッジ**の活用の推奨を図る。

AIスキルの習得、AIリテラシー向上のための教育コンテンツの充実・普及啓発を図る。

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2023改訂版案
および2024改訂版より一部抜粋

企業が抱える課題

生成AIの導入・活用にあたり、
必要なスキルを持った人材が社内におらず
採用・育成を進めなければいけない。

生成AIリスキングを推進するにあたり、
スキルマップを策定する方法がわからない。

個人が抱える課題

生成AIリスキングに取り組んでも
適切な評価・メリットを得られていない。

生成AIリスキングに取り組むにあたり、
どの講座を選べばよいのかわからない。

個人の生成AI活用レベルを証明（リテラシー・スキルの可視化）する仕組みが求められている。



「生成AI人材認定カード」の特徴

オープンバッジやNFC（近距離無線通信）カードといった技術を採用。
学んだ事実をあらゆる場面で活かしていただくための仕組みを実現。

1

NFCカードにより、あらゆる場面でスピーディーに生成AI活用レベルを証明可能

2

オープンバッジの受領状況に基づき、生成AIに特化した信頼性の高い学習歴のみ表示

※GUGAが認定するオープンバッジのみ登録・表示が可能

3

GUGA発行のプロフィールページをSNSやメールなどでシェア可能



「生成AI人材認定カード」の利用シーン例

就職・転職や取引などの場面で、PRの手段としてご利用いただくことを想定。

生成AI活用レベルを証明することで、信頼を得たり、差別化を図ったりといったことが期待できる。

就職・転職で想定されるケース



生成AIを前提とした業務オペレーションを構築しているため、一定の生成AI活用レベルを超えていないと、仕事を任せられない。

生成AI活用レベルを証明することで、

ミスマッチを防ぎ、企業が安心して採用できる。

取引で想定されるケース



納品物に生成AIが活用されていた場合、権利侵害への理解など、一定の生成AI活用レベルを超えていることが確認できないと、発注の判断ができない。

生成AI活用レベルを証明することで、

不安が払拭され、企業が安心して発注できる。



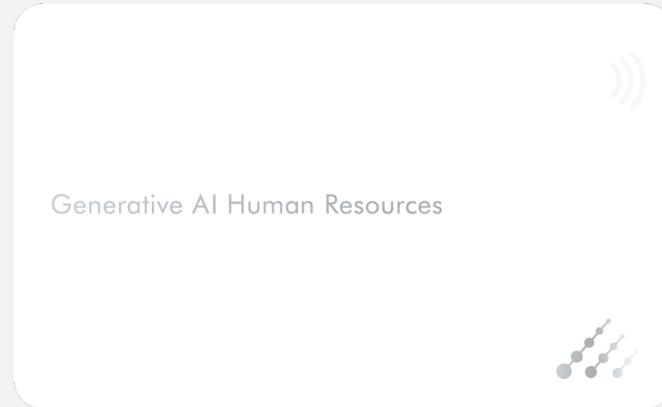
「生成AI人材認定カード」の種類

Basic、Silver、Goldのランクで構成する全3種。

各ランクごとに定められた発行基準を満たすことで、上位ランクの発行資格を得ることが可能。



Basic (ベーシック)



Silver (シルバー)



Gold (ゴールド)



カードの色に応じてランクが見分けられるため、ひと目で生成AI活用レベルを証明することも可能。

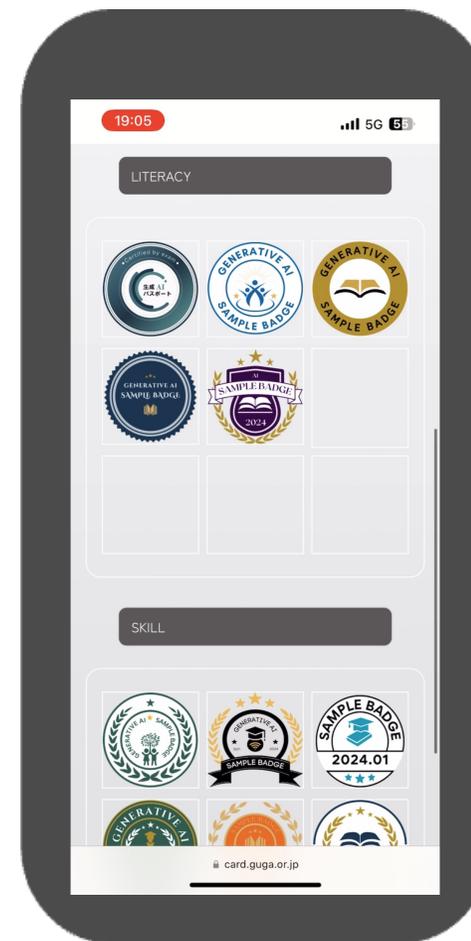
※現在はBasicのみ発行中。Silver、Goldの発行基準は順次公開いたします。



「生成AI人材認定カード」の基本情報

生成AI人材認定カードは「個人」に対して発行。
企業・団体さまによる一括でのお申し込みにも対応しています。

名称	生成AI人材認定カード
サイズ	85×54mm（クレジットカードサイズと同様）
種類	種類：全3種（Basic、Silver、Gold） ※1
発行資格	下記いずれかを満たす人材 ①生成AIパスポートの有資格者（オープンバッジ取得者） ②GUGAが認定する各種講座や資格試験のオープンバッジ取得者 ※2
利用料金	カード発行手数料：3,300円（税込） 月額利用料：550円（税込）
備考	※1：現在は「Basic」のみ発行中です。Silver、Goldの発行基準は順次公開いたします。 ※2：現在は①のみ受付中です。今後、②の対象講座を順次公開いたします。



「生成AI人材認定カード」のご利用特典

1年間以上継続でご利用中の方を対象に「生成AIパスポート 資格更新テスト」の受験費用を免除。



資格更新テストの受験費用（カードの年間利用料相当）を免除

~~6,600~~円(税込)



0円(税込)

合格者には新たにオープンバッジを発行するため、
プロフィールページに追加登録し、
AIリテラシーのアップデートを証明することが可能！

※特典内容は予告なく変更する場合がございます。

※受験申込時点で、月額利用料の未納や解約、不審な利用などが確認された場合は、特典の対象外となります。

「生成AI人材認定カード」の今後の展望

「生成AI人材認定カード」の価値向上・日本社会への普及に向けて推進。
生成AI人材の努力を市場価値の向上や賃金の上昇につなげることを目指す。

生成AIリスキリング講座の認定



講座例

ChatGPT×バックオフィス

Copilot×セールス

Gemini×マーケティング

良質な生成AIリスキリング講座や資格試験の
オープンバッジ化・認定を推進し、一覧化します。

カードランク別の発行基準の定義



GUGA協議会



各界の有識者

Silver、Goldの発行基準を定義し、
継続的なリスキリングを適切に評価します。

4

カスタマイズ研修

Customized training



「カスタマイズ研修」とは

GUGA カスタマイズ研修 カリキュラム			
研修内容			
コース	ChatGPT For Sales		
対象	営業担当の方		
日程・時間数	2時間×5回(合計学習時間:10時間)		
研修場所	興和益益ビル5F/各企業様への出張/オンライン		
受講費用	330,000(税抜)/人		
受講レベル	ChatGPTの存在は知っているが、使用したことがない		
最小催行人数	1名		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ChatGPTの基本を理解することができる 基本のアクティビティを使用できる 実際に現場でChatGPTを使用することができる 		
研修カリキュラム			
回次	時間	テーマ	内容
1	20分	導入	生成AIの仕組み ChatGPTの習得と歴史 AI生成AIの仕組み ChatGPTの仕組み GPT-4とGPT-3.5の概要 ビジネスユースケースの活用 生成AIの倫理とセキュリティ
		実演	・まずは実際によう 同じプロンプトをChatGPTとChatGPT Plusに ・「ハフター」(詳細、比較、予約、請求書、契約) ・生成AIの概要を生成AIに送らせる ・「プロンプト」を様々な生成AIで入力 ChatGPT: BingAI, Bard 「生成AIとはなんだ?」 「そもそも何なの?」 ・生成AIの活用ワークショップ ・ChatGPT Plusのインストール ・実際に現場で、ChatGPTを活用してみよう
2	20分	応用	生成AIの活用 ・生成AIに関するガイドライン ・プライバシーとセキュリティの考慮事項 ・生成AIのリスクと対策
		実演	・生成AI活用 ・カスタマーサポートワークショップ ・生成AIの活用ワークショップ ・生成AIの活用ワークショップ ・生成AIの活用ワークショップ ・生成AIの活用ワークショップ
3	20分	実践	ChatGPTの活用方法(1) APIを利用したChatGPTの実行 Pythonプログラミング基礎 JSONデータの取得 ChatGPTとAPIの連携 APIのセキュリティ スプレッドシートへのデータ書き込み・読み込み ChatGPTとスプレッドシートを連携させる実演
		実演	・ChatGPT×Excel
4	20分	応用	生成AIの活用方法(2) 顧客対応やサポートチャットボット 自動コンテンツ生成 データ分析レポート作成
		実演	・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用
5	20分	応用	生成AIの活用方法(3) 顧客対応やサポートチャットボット 自動コンテンツ生成 データ分析レポート作成
		実演	・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用 ・生成AI活用

企業・団体さま向け

実践的な生成AI活用方法（スキル）を学べる

カスタマイズ型の研修サービス

< 主な特徴 >

- ✓ 各社の特性に応じた柔軟なプランニング
- ✓ 多彩なカリキュラムによる豊富なバリエーション
- ✓ 研修パートナーとしてGUGA協議員がサポート

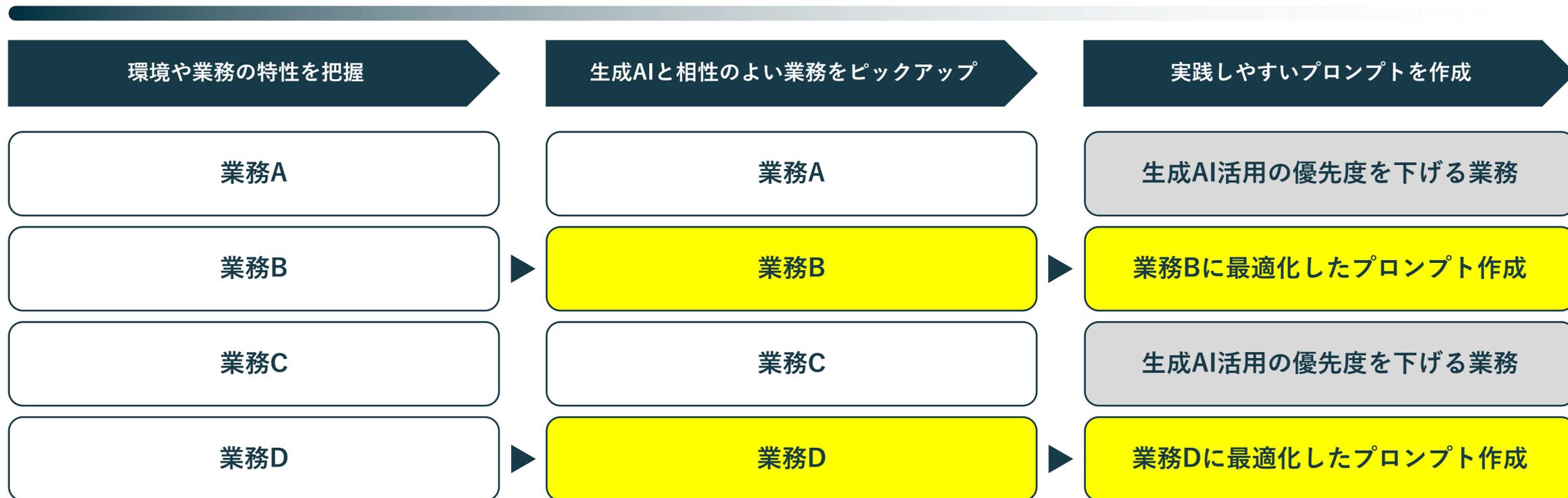


特徴① | 各社の特性に応じた柔軟なプランニング

研修プランの策定にあたり、各企業の環境や業務の特性に関するヒアリングを実施。

研修後、業務で実践できる状態を目指すことが可能。

実施イメージ（プロンプト作成&ハンズオン研修の場合）



特徴② | 多彩なカリキュラムによる豊富なバリエーション

多彩なカリキュラムの組み合わせにより、豊富なバリエーションをご用意。

各社の課題やニーズに応じた、研修プランを実現。

研修プラン例



セミナー

受講者層：基礎～初級者向け
定員：30～100名/1講師
時間：2～6時間/日
場所：指定場所（出張対応可）



ワークショップ

受講者層：基礎～初級者向け
定員：10～20名/1講師
時間：3～4時間/日
場所：渋谷オフィス
（出張は応相談）



プロンプト作成&ハンズオン研修

受講者層：初級～中級者向け
定員：部署毎
定員：30～100名/1講師
場所：オンラインor指定場所
（出張可能）



ハッカソン・アイデアソン

受講者層：初級～上級者向け
定員：20～50名/回
時間：4～6時間/日
場所：渋谷オフィス



サポート室の設置

利用者層：基礎～初級者向け
対応可能人数：20名/1担当者
対応可能時間：貴社の営業時間



特徴③ | 研修パートナーとしてGUGA協議員がサポート

AI有識者としてGUGAに所属する協議員に相談が可能。

研修パートナーとして、各協議員の強みを活かした研修プランをご提供。



茨木 雄太

アンドドット株式会社
代表取締役



田中 宏明

株式会社オプト
AIソリューション開発部部长



國本 知里

Cynthialy株式会社
代表取締役



津本 海

株式会社スニファウト
代表取締役 CEO



前田 一成

DXHR株式会社
代表取締役



GUGAではこれまでに企業や教育機関、自治体向けに研修を実施。

生成AIに対する理解度の向上に加え、利用意向の向上がうかがえる声を多数いただいている。

セミナーの場合

今まで文章生成AIをどのように業務に生かせるのか想像がしづらい部分があったが、後半のプロンプト例の紹介で実際に利用する際のイメージが掴めてよかった。

AIに関してよくわからない部分があったのだが、本講習を通して理解できて良かった。ChatGPTを使用したことがなかったのだが、目の前で実践していただいて非常にいい機会であった。とても正確に問いに対して回答していたので非常に驚いた。

単に質問に対する回答ではなく、アイデアを何パターンも提案させる用途をみて本当にすごい活用方法だと感じた。あまり取り扱う際の注意点を考えられていなかったなので、このあたりを再度留意し、生成AIを使用することができれば、サービスの向上が期待できると思う。

セミナー＋ワークショップの場合

実際に使いながら活用方法を考えられて勉強になりました。プロンプトが少し違うだけで出力が変わり、上手にプロンプトを書き上げることの重要性がわかりました。

とても楽しかったです。生成AIで、時間が大幅に節約できると感じました。今まで使ったことはなかったですが、早速使ってみたいと思います。

今までエクセルで、マクロで工夫していたことについて、他の人たちも楽に使えるようになりそう、と思うことができました。生成AIを使わなくても頑張ればできる、と思っていたことについても、使ってみようかなーと思えるようになりました。

流行り始めたときに一度使ったが、あまりに精度に問題があったのでしばらく使っていなかったが、プロンプトの組み方などとても参考になり、自分が考えていたよりもはるかに見えそうな場面がありそうだなと認識を新たにすることができた。



ご参考 | 研修スケジュール例

	2024年7月		2024年8月				2024年9月				2024年10月			
部署A	ヒアリング	プロンプト作成	ハンズオンセミナー	個別指導			ワークショップ							アイデアコンペ
				サポート室										
					目安箱									
部署B			ヒアリング	プロンプト作成	ハンズオンセミナー	個別指導			ワークショップ					アイデアコンペ
						サポート室								
							目安箱							
部署C					ヒアリング	プロンプト作成	ハンズオンセミナー	個別指導			ワークショップ			アイデアコンペ
								サポート室						
									目安箱					

<プラン例>

- ①3部署1,000人を対象とし、1部署ずつ段階的に進行
- ②まず、該当部署の業務をヒアリングし、プロンプトを作成
- ③作成したプロンプトの使い方に関する講演と、実践を中心としたハンズオンセミナーを3~4回に分けて開催
- ④業務での実践にあたり、希望者へ個別指導（学習意欲の高い人材のさらなるスキルアップ支援）とサポート室（学習した内容の使い方の復習支援）を開始
- ⑤目安箱を設置し、業務で実践するなかで出てきた意見や要望を吸い上げる体制を構築（週ごとに集計結果をまとめてレポート提出、継続的な改善提案を含む）
- ⑥AI利用率が高い人材を厳選し、プロンプトエンジニアリングのスキル向上を目的としたワークショップを実施
- ⑦業務の効率化や新規事業の創出などテーマを設定し、ボトムアップで生成AI活用の具体的なアイデアを集める社内コンペティションを開催



ヒアリングを実施した上で、各社の目的を達成するための研修プランをご提案。

ご予算に合わせて、段階的なプランニングも可能。

費目	内容	数量	単位	参考金額（税抜）
セミナー企画	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの企画 ・両社間、内部MTG ・セミナー資料の作成 	1	式	100,000円～500,000円
業務ヒアリング（部門：10時間まで）	<ul style="list-style-type: none"> ・部署別に業務をヒアリング（最大2時間見込み） ・業務内容の整理・分類 ・準備～ヒアリング～まとめ 	1	部門	300,000円～1,000,000円
プロンプト集作成（共通：（参考）50プロンプト）	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の理解 ・業務別のプロンプト活用の調査 ・業務別にプロンプト文面を作成 	1	式	500,000円～
プロンプト集作成（部門：（参考）20プロンプト）		1	部門	200,000円～
講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー企画の理解と準備 ・セミナーの開催（最大120分まで） ・セミナー当日サポート1～2名配備 	1	回	400,000円～
アンケート／レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート作成および集計 ・レポート作成 	1	式	300,000円～
アフターサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・社員様からの相談受付など 	1	ヶ月	300,000円～
チェックテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・プロンプトに関する問題を10-20問程度作成 ・アンケートフォームを用いてテスト実施 	1	式	300,000円～



1

カスタマイズ研修専用フォームよりお問い合わせ

<https://guga.or.jp/customized-training/>

2

各企業の環境や業務の特性、課題やニーズをヒアリングシートに記入・提出

3

各社の目的を達成するための研修プランをご提案

4

スケジュールを策定の上、研修を実施

5

研修後の生成AI利用状況など振り返りを実施



5

会員制度

Membership Information



GUGAの活動趣旨にご賛同いただける企業・団体さまを対象に、さまざまな特典を提供する制度。

主に5つの目的で、生成AIに関心の高い企業・団体さまが入会。

ブランディング

ディスカウント

リサーチ

ネットワーキング

ビジネス



会員種別一覧



こんな方にオススメ

- ✓ 団体受験をおトクに申し込みたい
- ✓ 動画学習型で一斉に資格取得を目指したい
- ✓ 生成AIに関する最新情報やサービス情報を収集したい
- ✓ GUGAの理事や協議員、会員と交流したい
- ✓ 委員会の発足など、GUGA内で積極的に活動を行いたい
- ✓ GUGA会員向けに自社のサービスを紹介したい



こんな方にオススメ

- ✓ 団体受験をおトクに申し込みたい
- ✓ 動画学習型で一斉に資格取得を目指したい
- ✓ 生成AIに関する最新情報やサービス情報を収集したい
- ✓ GUGAの理事や協議員、会員と交流したい
- ✓ 生成AIに関する委員会活動に参加したい

※下記の会員種別は、パートナー会員と同じ内容のサービスをご提供しております。



こんな方にオススメ

- ✓ 団体受験をおトクに申し込みたい
- ✓ 動画学習型で一斉に資格取得を目指したい
- ✓ 生成AIに関する最新情報やサービス情報を収集したい



会員種別に応じた提供サービス一覧

		 シニアパートナー Senior Partner	 パートナー Partner	 準会員 Associate Member
①会員認証ロゴ	GUGA会員であることを証明するロゴを提供します。ロゴポリシーに準じて、自社のWebサイトやプレスリリースなどに掲載することができます。	○	○	○
②月次報告メール	月に一度、GUGAの活動報告やイベント情報、GUGA会員企業のサービス情報などが集約されたメールを受け取ることができます。毎月第2月曜日（祝日の場合は翌営業日）に配信しています。	○	○	○
③団体受験割引	「生成AIパスポート試験」の団体受験の申し込みにあたり、受験費用／公式テキスト購入費用ともに20%割引を適用できます。人数の下限を問わず、団体受験の申し込み可能です。	○	○	○
④動画学習型の資格認定制度	GUGA会員限定で提供する「シラバス対応研修動画（eラーニング）」を視聴し、「生成AIパスポート試験」の内容と同等の学習ができます。視聴後のチェックテストに合格した受講者は、「生成AIパスポート」の資格を取得することができます。	○	○	○
⑤四半期定例会	GUGAの理事や協議員、会員が集う四半期定例会（オフライン）に参加することができます。四半期定例会では、登壇者をお招きしたコンテンツや交流タイムを設けています。また、当日の様子はアーカイブ動画を閲覧することも可能です。	○	○	△ ^{※1}
⑥委員会活動	生成AIの社会実装に向けて、テーマや目的別で組成される委員会の活動に参加することができます。シニアパートナー会員は、委員会の設立を申請する権利を持ち、所定の審査を通過することで委員会を設立し、活動を推進できます。	◎	○	×
⑦サービスPR	自社で提供されている生成AI関連サービスについて、所定の基準を満たすことで、GUGA会員向けにPRできます。主に月次報告メールへの掲載や、四半期定例会でのチラシ配布などを行うことが可能です。今後、GUGA会員サイト内のマイページにて、サービス一覧の表示を予定しています。	○	×	×

※上記は2025年4月時点のGUGA会員（一般個人会員を除く）向けの提供サービスです。一般個人会員は、月次報告メールの受け取りのみ可能です。

※1 準会員は、四半期定例会のオフライン参加ができず、アーカイブ動画の閲覧のみ可能です。



入会目的に応じたおすすめの種類

入会目的にマッチした会員種別をご選択いただくことを推奨。

「シニアパートナー会員」が最も多く、生成AIの社会実装に対する熱量が高いコミュニティを形成。

ブランディング



全種別

ディスカウント



準会員

リサーチ



準会員・パートナー会員

ネットワーキング



パートナー会員

ビジネス



シニアパートナー会員



入会時期に応じた料金テーブル



入会時期	シニアパートナー 会員	パートナー 会員	準会員	自治体会員	学校・研究機関 会員	特別会員
第1 四半期内 (4月~6月)	200,000円	100,000円	50,000円	無料	無料	無料
第2 四半期内 (7月~9月)	150,000円	75,000円	37,500円	無料	無料	無料
第3 四半期内 (10月~12月)	100,000円	50,000円	25,000円	無料	無料	無料
第4 四半期内 (翌1月~3月)	50,000円	25,000円	12,500円	無料	無料	無料

※ 初年度の年会費に関しては、入会する月により金額が変動します。

※ 翌年度以降は4月1日に年度を更新し、各種別に応じた年会費が発生します。



入会手続きに関するご案内

会員規約



[倫理規定](#)



[法人会員規約](#)



[個人情報取扱規定](#)

※ご入会には「個人情報取扱規定」及び「法人会員規約」「倫理規定」へのご同意が必要となります。

ご入会の流れ

01

法人会員規約への同意、および入会申込フォームのご入力

法人会員規約に同意の上、[入会申し込みフォーム](#)に必要情報をご記入し、送信してください。

02

申込内容の確認

貴社がフォームに入力・送信した内容を、運営事務局にて確認をさせていただきます。

03

会費納入先のご案内

会費の納入に関して、指定の銀行口座情報をご連絡いたします。

04

会費の納付

ご案内した指定された口座への会費の納入をお願い申し上げます。

05

会費納入の確認

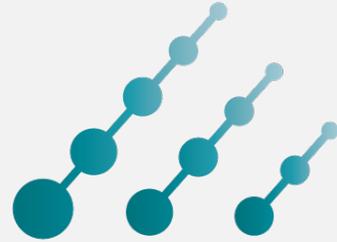
納入が確認され次第、会員登録手続きを完了とさせていただきます。

06

会員登録完了の通知

登録完了後、貴社のロゴの掲載や、希望される委員会への参加等の手続きについて、詳細をお伝えいたします。

※ 入会をご希望の際は、法人会員規約を必ずご確認ください。入会の承認は、当協会の基準に基づき、後日正式に通知させていただきます。



GUGA

Association to Generalize Utilization
of Generative AI